

73 明治15年4月11日 菊池長閑

新渡戸エ内々挨拶致候処来ル廿六日ニ下取申来り真ニ体計遣可
申依而注文物ハ夏物之外調次第通運なりとも有る便之内早キエ
出し様頼入候

一注文物大凡八拾円位も可懸哉追注文出来ぬとも云はれず依而

百円為換手形遣候此内ハ運賃支払追而差引書為下し可申候

一末次郎エ宿元ハ三十円送金一条へ托し候右は過日申遣同人エ

繰替金返金之積ニ候間心得申遣候

一波方如何心決するや安心となる様致度後の報知を待居也

一味贈二樽漸便好ヲ伝聞舟宿まで今日差出東京迄之運賃も払候

是迄便好一切なき故延ニ相成候也

四月十一日

長閑

武夫殿

(封筒表)

「東京三十間堀巷丁目六番地

(注記1)

菊池武夫殿 (消印1)

(注記2)

(封筒裏)

「岩手県盛岡加賀野村

八十六番 (消印2)

菊池長閑

(注記1)

〔(朱書)第八七二〕

(注記2)

〔(朱書)書留〕

(消印1)

〔盛岡・陸中・南岩手・四・一二〕

(消印2)

〔東京・一五・四・一八・ヨ〕